

【平成31年度環境省予算要求(環境省・国土交通省連携事業)】
公共交通機関の低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業のうち
**グリーンスローモビリティ導入実証事業の
活用について**

平成30年9月
環境省・国土交通省

背景・目的

- 地域での低炭素型交通の確立が必須だが、公共交通が衰退し、マイカー交通が主流になっている地方部が多い現状。
- 低炭素型モビリティであるグリーンスローモビリティ(時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動モビリティ)は、一部地域で無償運送が行われているものの、地域での本格導入が進んでいない。
- 様々な地域へのグリーンスローモビリティの導入を進めることで、マイカー等からの移動手段の転換を促進する。高齢者の移動手段の確保や観光振興など、交通の低炭素化と併せて地域課題の解決を図る。
- 併せて、車両部材としてのCNFの実証、IoTを活用したサービスの構築など複数テーマにおけるグリーンスローモビリティの導入方法を検証する。

事業概要

- ①グリーンスローモビリティ(ゴルフカート、eCOM8等)の車両購入費補助
 - ②先進技術を活用したグリーンスローモビリティの導入実証事業(CNF、IoT技術の活用等)
- 実施期間:平成31年度(2019年度)～平成35年度(2023年度)

事業スキーム

- 経費:①車両購入補助費、②実証事業委託費
- 対象:①グリーンスローモビリティを使って旅客運送事業を行う地方公共団体及び地方公共団体と連携して旅客運送を行う団体等、バス所有事業者、タクシー所有事業者
- ②民間事業者等

補助割合:①2/3



グリーンスローモビリティの特長

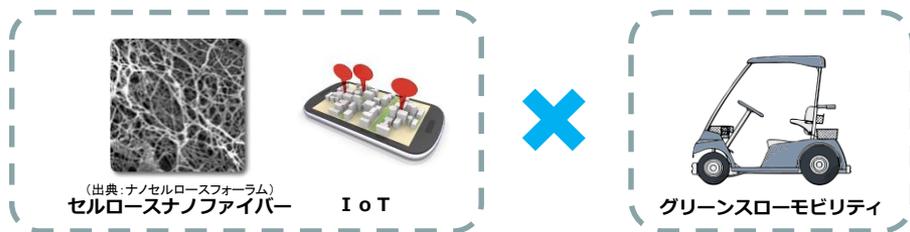
電動で時速20km未満で公道を走ることができる4人乗り以上のモビリティ

- ①Green: 電気自動車
→CO2排出量が少なく、GS撤退地域でも運行可
- ②Slow: 時速20km未満、観光に適したスピード
- ③Safety: 比較的安全、高齢者も運転可
- ④Small: 小型なので道幅が狭くても問題ない
→狭い道の中山間地・住宅地・離島など今まで公共交通を使えなかった地域で導入可能
- ⑤Open: 開放的や対面式のシートで話が弾む
→「乗りたい」「乗って楽しい」モビリティ



【事業のイメージ】

- ①グリーンスローモビリティ導入にかかる購入経費を補助
- ②CNF、IoT等の先進技術を活用したグリーンスローモビリティの導入実証事業を実施



期待される効果

- 低炭素な移動手段への転換による、運輸部門におけるCO2排出量の削減。
- 様々な地域における活用方法確立により、多くの地域へ導入が波及。
- 導入台数の増加によるグリーンスローモビリティの価格低減。
- 先端技術の活用方法の実証による、より省エネ効果の高い導入方法の確立。

グリーンスローモビリティの車両購入費補助について

1 補助対象費目について

■平成31年度の「グリーンスローモビリティ導入実証事業」のうち、車両購入費補助について、この補助の対象となる費目は、以下のものを予定しています。

※今後の予算要求過程の中で変わることもあり得ます。



これら費用の
合計額の
3分の2の額を
補助します。
(予定)

※以下の費用などは補助対象の費目ではありません。

- 登録諸経費（自動車税等・登録料）
- 安全運転講習費
- ソーラーパネル等その他車両のオプション項目
- 車両デザイン変更料
- 自動運転機能の追加 等

2 補助対象者について

■グリーンスローモビリティを使って旅客運送事業を行う予定の地方公共団体及び地方公共団体と連携して旅客運送を行う予定の団体等、バス所有事業者、タクシー所有事業者を予定しています。

3 実証調査について

■本補助制度を活用して購入したグリーンスローモビリティ車両については、購入後3年間、本車両によるCO2削減効果等を調査し、環境省及び国土交通省に報告する必要があります。

グリーンスローモビリティ対象車両①4人乗り

- 購入費補助の対象となるグリーンスローモビリティ車両は、現時点では以下の9車両を予定しています。どの車両も軽自動車以上のナンバープレートを取得し、公道を走ることができます。自動車税等の税金や保険は通常の自動車と同じく必要です。
- 今後、補助対象車両は追加等される場合があります。

車名	AR-04		YG-M
メーカー	YMPC	日立	YMPC
イメージ			
定員	4名	4名	4名
区分	軽自動車	軽自動車	軽自動車
価格	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両価格：229万円 ● インコーンジャー：9.8万円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両価格：303万円 ● インコーンジャー：15万円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両価格：353万円 ● インコーンジャー：11.5万円
その他 必要費用	<p>その他、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ナンバープレート登録費用（登録書類作成、地方運輸局との調整・旅費、車検等含む） ・ 登録諸経費（各種自動車税・登録料） ・ 安全運転講習費 ● 車両輸送費 <p>具体的な額は各メーカーにお問い合わせください。</p>		
			が必要です。

グリーンスローモビリティ対象車両②5～6人乗り

車名	AR-05	YG-ML	YG-ML-Plus
メーカー	YMPC	YMPC	YMPC
イメージ			
定員	5名	6名	4名+車椅子
区分	小型自動車	小型自動車	小型自動車
価格	●車両価格：260万円 ●インナーギア：9.8万円	●車両価格：485万円 ●インナーギア：14.6万円	●車両価格：595万円 ●インナーギア：14.6万円
その他 必要費用	<p>その他、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナンバープレート登録費用（登録書類作成、地方運輸局との調整・旅費、車検等含む） ・登録諸経費（各種自動車税・登録料） ・安全運転講習費 ●車両輸送費 <p>各メーカーにお問い合わせいただき、その額を国土交通省に連絡してください。</p> <p style="text-align: right;">が必要です。</p>		

●：補助対象、・補助対象外

グリーンスローモビリティ対象車両③7人～16人乗り

車名	AR-07	eCOM-8z	eCOM-10
メーカー	YMPC	シンクトゥギャザー	シンクトゥギャザー
イメージ			
定員	7名	10名	16名
区分	小型自動車	小型自動車	普通自動車
主な価格	<ul style="list-style-type: none"> ●車両価格：345万円 ●インジェクション：13万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●車両価格：1,600万円 ●レインゴードビニールシート：35万円 ○ソーラーパネル：35万円 ○スパアパバッテリー及び充電装置 190万円 ○車椅子リフト：100万円 ○車内アウンス装置：10万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●車両価格：1,900万円 ●レインゴードビニールシート：35万円 ○ソーラーパネル：35万円 ○スパアパバッテリー及び充電装置 190万円 ○車椅子リフト：100万円 ○車内アウンス装置：10万円
その他 必要費用	<p>その他、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナンバープレート登録費用（登録書類作成、地方運輸局との調整・旅費、車検等含む） ・登録諸経費（各種自動車税・登録料） ・安全運転講習費 ●車両輸送費 <p>各メーカーにお問い合わせいただき、その額を国土交通省に連絡してください。</p> <p style="text-align: right;">が必要です。</p>		

■31年度事業設計に必要な情報の収集のため、また、各メーカーにおいて必要な販売台数を確保するため、31年度に当該購入費補助の活用を検討される方は、**平成30年10月5日(金)**までに、購入を検討している**車種と台数**について、**国土交通省及び車両のメーカー（以下3社）の担当者**にご連絡ください。

【メーカー①】

会社名：ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社（YMPC）
ゴルフカー事業推進部 企画部 事業企画課
担当者：田口慎一郎、小瀬哲郎
TEL 0537-21-2671 FAX0537-21-0951
E-mail : tagushi_shinichiro@ympc.co.jp
koze_tetsuro@ympc.co.jp

【メーカー②】

会社名：日立バッテリー販売サービス株式会社
カート営業統括部
担当者：井上直樹
TEL 03-3895-4170 FAX03-3896-4373
E-mail : n-inohe@hitachi-chem.co.jp

【国土交通省】

総合政策局環境政策課
三重野真代、島めぐみ
TEL 03-5253-8269 FAX03-5253-1550
E-mail: hqt-greenmobi@ml.milt.go.jp

【メーカー③】

会社名：株式会社シンクトゥギャザー
担当者：宗村正弘
TEL : 0277-55-6830（携帯090-5490-1720）
E-mail: thinktogether@ttcom.jp

グリーンスローモビリティの走行に当たっての注意事項

- グリーンスローモビリティ（以下「グリスロ」という。）は、時速20km未満で公道を走る特殊な車両のため、通常の自動車とは異なる運転技法が必要となります。このため、グリスロの購入時には、ドライバーとして予定される方々にメーカー等による**安全運転講習**を受講していただく必要があります。
- グリスロの走行コースの設定については、グリーンスローモビリティの利用者や他の交通の安全と円滑を確保するため、**事前に管轄の警察署等**へコース設定や安全対策等の説明を行い、交通安全上の情報提供や意見・助言を受けた上で実施してください。
- 運行に当たっては、私有地や無償運行だからといって道路運送法の対象にならないとは限りません。法令違反による事業運営になっていないか、必ず所管の**地方運輸局または地方運輸支局**に確認してください。
- 道路管理者**や既存の交通事業者など必要な関係機関との協議も必要です。

【本資料へのお問い合わせ】

- 国土交通省総合政策局環境政策課
三重野真代、島めぐみ
TEL 03-5253-8269 FAX03-5253-1550
E-mail: hqt-greenmobi@ml.milt.go.jp

【グリーンスローモビリティ導入実証事業全般へのお問い合わせ】

- 国土交通省総合政策局環境政策課
三重野真代、島めぐみ
TEL 03-5253-8269 FAX03-5253-1550
E-mail: hqt-greenmobi@ml.milt.go.jp
- 環境省地球環境局地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室
西山卓也、佐藤佑輔
TEL: 03-5521-8355